



夏休み明けは今月後半ですが、一足先にダイコン組の学生は実習を始めました。ダイコン、キャベツ、ブロッコリーなどを栽培します。後期が始まる月後半では収穫時期が気温の低下とともに遅れてしまうため、夏休み中から実習を始めます。しかし、今月前半は秋雨前線と台風の影響で天候が定まらず、思うように作業を進められませんでした。夏休み中に登校する学生は日取りを決めるのに一苦労したことと思います。

学生がキャベツ、ブロッコリーの定植を始めるとどこからともなくモンシロチョウが飛んで来ます。そして、まだ活着もしていない植えたての苗の間を盛んに飛び回っています。どのように植付が行われたことを察知するのでしょうか。どこからともなく飛んでくるモンシロチョウには感心するばかりです。



猛暑の中、サツマイモは旺盛に成長しました。夏休み中に畑を見に来た学生は、そのあり様に感嘆していました。そして、たくさん収穫できることに期待を寄せていました。あとひと月ほどで収穫です。夏の天候は目まぐるしく、猛暑、乾燥、ゲリラ雷雨を重ねました。この天候がどのように収穫に影響するのか楽しみでもあり、不安でもあります。学生たちが一喜一憂しながら芋掘りする姿が楽しみです。



無花果。

農園の無花果もようやく熟し始めました。

実習に来る学生の楽しみ一つです。といっても全員がというわけではなく、その実を見て何かわからず、戸惑っている姿もあります。初めて食べて感想が様々聞こえてきます。

農園には3品種の無花果があり、来月にかけて、実習の学生に味わってもらいます。しかし、鳥たちも味わいに来て、熟し始めると収穫前に啄まれます。



二百十日を沖縄地方の方は非常に大きな台風とともに迎えました。海水温が高いために台風が勢力を強め、現地の方々もいつも以上に警戒を強めている姿が報道されていました。9月1日、気象庁は今年の梅雨入り・明け日の確定値を発表しました。最も早い梅雨明けとされていたが、約1か月ずれていたとのこと。7月の天候を思い起こすと納得のいくところでもあります。過去に「梅雨明けがなかった」と確定発表されたことを思い起こしました。